



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上場会社名 日本ユニシス株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 8056 URL <http://www.unisys.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕井 勝人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報部長 (氏名) 田崎 稔 TEL (03)5546-4111

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 3 四半期	216,405 11.3	1,823 -	1,746 -	5,396 -
19 年 3 月期第 3 四半期	194,497 1.9	3,040 -	2,826 -	2,068 -
19 年 3 月期	307,455	6,278	6,646	3,433

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	56 23	- -
19 年 3 月期第 3 四半期	21 70	- -
19 年 3 月期	35 97	35 75

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	243,934	78,416	31.8	807 88
19 年 3 月期第 3 四半期	222,290	80,723	36.0	832 98
19 年 3 月期	237,861	87,018	36.2	897 36

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	6,118	21,975	16,759	24,184
19 年 3 月期第 3 四半期	6,034	26,077	21,994	20,710
19 年 3 月期	8,813	32,270	15,856	23,225

2 . 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	356,800	16.0	19,400	209.0	18,700	181.4	3,300	3.9	34	42

3 . その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有  
 [ 新規 1 社 (社名 (株) ネットマークス ) ]  
 [ 除外 1 社 (社名 日本ユニシス・ソリューション(株) ) ]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4 . その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

なお、業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期のわが国経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら先行きについては、サブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の悪化や原油価格の高騰などにより、一部の企業収益に影響も見られ始めております。

情報サービス市場においては、需要の増加傾向は続いておりますが、その一方で、企業のコスト削減、投資対効果 (ROI) を重視した投資判断への慎重な姿勢も依然として続いております。

このような環境の中で日本ユニシスグループは、高収益企業への脱皮を目指し、「サービス体制の強化」による採算性向上、および成長の加速化に向けた「ICT (Information and Communication Technology) 事業体制の強化」に重点的に取り組んでおります。

当第 3 四半期におきましては、「サービス体制の強化」において、従来より実施中のプロジェクト支援・審査体制の強化に加え、品質向上や品質管理のために、自動車の組立工程に導入されている「アンドンシステム」の仕組みをシステム開発工程に適用しました。これにより、早期段階での問題の顕在化、関連組織での情報共有を促進させることで問題を先送りしない自由闊達な企業文化の定着を図っております。

また「ICT 事業体制の強化」においては、(株)ネットマークス、ユニアデックス(株)のネットワーク関連技術と日本ユニシス(株)のシステム・インテグレーション技術による総合的な ICT ソリューション・サービスの展開を進めております。この一環として、教育ソリューション「RENANDI® (レナンディ)」を SaaS (Software as a Service) 化し、インターネットを介した提供を開始いたしました。ICT 分野においては今後も更にソリューション・サービスの強化により成長を加速してまいります。

さらに、基盤事業であるシステム・インテグレーション事業の更なる強化に向けた、ソリューションの拡充を実施しており、当第 3 四半期においても、IC タグにより物流の可視化を実現するシステム「VisibleLogisticsSolutions™」の提供やハイブリッドビジネス対応 ERP ソリューションである「Hybrish™」の販売を開始しております。本事業領域においては、今後とも引き続き当社の強みである「ミッションクリティカルなシステム構築力」と業務ノウハウを活かしたソリューション戦略を積極的に推進してまいります。

当第 3 四半期の連結業績につきましては、システムサービスの伸びに加え、(株)ネットマークスが新たに連結の範囲に加わったこと等によりサービス売上が大幅な増収となりましたが、採算重視の案件絞り込みを行ったことから、ソフトウェアおよびハードウェア売上が減少したことにより、売上高合計では 2,164 億 5 百万円 (前年同四半期比 11.3% 増加) となりました。

また、利益面につきましては、大型アウトソーシング開始による償却費負担の増加などがあったものの、ユニシス・コーポレーションに対する商標使用料の負担がなくなったことにより、売上総利益は増加いたしました。研究開発費や社内情報化投資の増加、および、(株)ネットマークスを新規連結した結果、営業利益は 18 億 23 百万円 (前年同四半期は 30 億 40 百万円の損失)、経常利益は 17 億 46 百万円 (前年同四半期は 28 億 26 百万円の損失) となりました。四半期純損益につきましては、(株)ネットマークスの株価が著しく下落したことに伴い、同社に係わるのれんのうち、58 億 89 百万円を特別損失に計上したことから 53 億 96 百万円の損失 (前年同四半期は 20 億 68 百万円の損失) となりました。

## (当社グループの四半期業績の特性)

一括請負型システム開発の売上計上基準は検収基準を採用しており、第 2 四半期および第 4 四半期に検収が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集中いたします。

ハードウェアおよびソフトウェア販売は、第 2 四半期および第 4 四半期に出荷が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集中いたします。

この四半期ごとの業績変動の特性は、当期に発生した特殊事象ではなく、当業界の傾向であります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期の総資産の状況につきましては、ユニシス・コーポレーションに対する商標使用料の負担がなくなったことにより前払費用が減少した一方、営業用コンピュータの取得およびアウトソーシング用ソフトウェア開発等による固定資産の増加に加え、(株)ネットマークスを新規連結したことにより、前年同四半期比 216 億 44 百万円増加の 2,439 億 34 百万円となりました。

当第 3 四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物が、前期末比 9 億 59 百万円増加の 241 億 84 百万円となりました。

営業活動により得られた資金につきましては、売上債権の減少等により 61 億 18 百万円の収入（前年同四半期は 60 億 34 百万円の支出）となりました。

投資活動により支出した資金につきましては、アウトソーシング用コンピュータおよびソフトウェア開発等による固定資産の取得、(株)ネットマークスの株式取得等により 219 億 75 百万円の支出（前年同四半期比 41 億 2 百万円の支出減少）となりました。

財務活動により得られた資金につきましては、長期借入れの実施等により 167 億 59 百万円の収入（前年同四半期比 52 億 34 百万円の収入減少）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、当第 3 四半期の連結業績を踏まえ売上高について変更いたします。

当期の売上高につきましては、サービス重視の営業活動に注力したことから、サービス売上は順調に推移したものの、ソフトウェア売上、ハードウェア売上は採算重視の案件絞り込みを行ったこと、およびオープンプロダクトの価格低下等の影響により、前回発表予想 3,668 億円より 100 億円下回る 3,568 億円に変更いたします。

また、利益面につきましては、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、概ね見通しどおりに推移しており、前回発表時から変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は平成 19 年 2 月 28 日開催の取締役会決議に基づき、平成 19 年 3 月 5 日から平成 19 年 5 月 31 日までの間、(株)ネットマークスの株式および新株予約権に対して公開買付けを実施いたしました。その結果、当社は対象会社の発行済株式の過半数を取得し、(株)ネットマークスは当社の特定子会社となりました。

また、システムサービス体制の強化に向けたグループ企業の再編により、当社は平成 19 年 9 月 1 日付けで日本ユニシス・ソリューション(株)を吸収合併した結果、同社は当社の特定子会社ではなくなりました。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

第 3 四半期において投資有価証券の減損処理は実施していません。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当期より、営業用コンピュータ以外の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法により減価償却費を計上しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

## 5. (要約)四半期連結財務諸表等

## (要約)四半期連結損益計算書

	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	216,405	194,497	21,907	11.3	307,455
売上原価	164,276	156,435	7,840	5.0	244,258
売上総利益	52,128	38,061	14,066	37.0	63,196
販売費及び一般管理費	50,305	41,102	9,202	22.4	56,917
営業利益(は損失)	1,823	3,040	4,864	-	6,278
営業外収益					
1受取利息及び受取配当金	367	210	156	74.1	244
2その他	490	528	37	7.1	881
営業外費用					
1支払利息	851	493	358	72.7	709
2その他	83	32	50	155.7	49
経常利益(は損失)	1,746	2,826	4,573	-	6,646
特別利益	411	25	385	-	95
特別損失	6,452	309	6,142	-	430
税金等調整前四半期 (当期)純利益(は損失)	4,294	3,110	1,183	-	6,311
法人税等	1,222	1,156	2,378	-	2,711
少数株主利益(は損失)	119	113	233	-	166
四半期(当期) 純利益(は損失)	5,396	2,068	3,328	-	3,433

## (要約)四半期連結貸借対照表

	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
<b>(資産の部)</b>					
流動資産					
1現金及び預金	24,194	20,720	3,474	16.8	23,235
2受取手形及び売掛金	52,596	41,681	10,915	26.2	76,509
3たな卸資産	31,058	37,725	6,666	17.7	17,078
4繰延税金資産	13,536	11,589	1,947	16.8	11,127
5前払費用	5,896	8,023	2,127	26.5	4,477
6未収入金	2,110	1,765	345	19.6	1,633
7その他	957	303	654	215.6	372
貸倒引当金	398	41	356	853.2	381
流動資産合計	129,953	121,767	8,186	6.7	134,053
固定資産					
1有形固定資産	21,797	18,944	2,852	15.1	20,121
2無形固定資産	37,922	31,717	6,204	19.6	29,473
3投資その他の資産					
(1)投資有価証券	19,228	18,458	770	4.2	21,553
(2)前払年金費用	13,587	11,656	1,931	16.6	12,036
(3)その他	22,976	20,391	2,584	12.7	21,088
貸倒引当金	1,531	644	886	137.4	465
固定資産合計	113,980	100,522	13,457	13.4	103,808
資産合計	243,934	222,290	21,644	9.7	237,861
<b>(負債の部)</b>					
流動負債					
1支払手形及び買掛金	21,979	23,325	1,346	5.8	32,789
2短期借入金	15,050	22,930	7,880	34.4	19,050
3長期借入金(1年以内)	16,575	1,637	14,937	912.2	10,825
4社債(1年以内償還)	8,000	-	8,000	-	8,000
5コマーシャル・ペーパー	15,000	16,000	1,000	6.3	13,000
6未払費用	8,919	10,297	1,378	13.4	13,007
7引当金	844	889	44	5.0	1,205
8その他	22,142	19,669	2,473	12.6	22,548
流動負債合計	108,511	94,749	13,761	14.5	120,425
固定負債					
1社債	-	8,000	8,000	-	-
2長期借入金	52,575	34,800	17,775	51.1	26,400
3引当金	1,893	1,674	218	13.1	1,454
4その他	2,538	2,343	195	8.3	2,564
固定負債合計	57,006	46,817	10,189	21.8	30,418
負債合計	165,518	141,567	23,950	16.9	150,843
<b>(純資産の部)</b>					
株主資本					
1資本金	5,483	5,483	-	-	5,483
2資本剰余金	15,494	15,535	40	0.3	15,514
3利益剰余金	75,104	75,955	851	1.1	81,456
4自己株式	19,319	19,242	76	0.4	19,178
5自己株式申込証拠金	0	13	12	94.4	0
株主資本合計	76,763	77,745	981	1.3	83,277
評価・換算差額等					
1その他有価証券評価差額金	685	2,168	1,483	68.4	2,839
2繰延ヘッジ損益	-	3	3	100.0	6
3為替換算調整勘定	3	0	3	408.8	0
評価・換算差額等合計	689	2,172	1,483	68.3	2,844
新株予約権	209	26	182	690.8	66
少数株主持分	754	778	24	3.1	830
純資産合計	78,416	80,723	2,306	2.9	87,018
負債純資産合計	243,934	222,290	21,644	9.7	237,861

## (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

項目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(は損失)	4,294	3,110	6,311
減価償却費	11,149	10,141	13,808
のれん償却額及び負ののれん償却額	6,279	2	7
引当金の減少額	407	731	476
売上債権の減少額	38,456	39,217	4,389
たな卸資産の増減額	8,971	18,403	2,243
仕入債務の減少額	17,820	30,529	21,051
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	12,795	1,449	7,914
小計	11,597	1,970	13,132
利息及び配当金の受取額	396	206	243
利息の支払額	673	394	666
法人税等の支払額	5,201	3,876	3,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,118	6,034	8,813
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	6,873	3,637	6,897
無形固定資産の取得による支出	9,557	13,496	14,673
投資有価証券の取得による支出	1,023	8,908	10,998
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	6,676	150	150
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	2,155	115	448
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,975	26,077	32,270
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	9,950	16,970	13,090
長期借入れによる収入	27,000	8,600	10,100
長期借入金の返済による支出	925	1,337	2,050
コマーシャル・ペーパーの純増減額	2,000	4,000	7,000
自己株式売却による収入	-	2,170	2,170
配当金の支払額	900	691	713
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	464	281	259
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,759	21,994	15,856
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0	0
現金及び現金同等物の増減額	907	10,116	7,601
現金及び現金同等物の期首残高	23,225	30,827	30,827
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	51	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	24,184	20,710	23,225

## 6. 受注及び販売の状況

## (1)受注の状況

売上区分	受注高		受注残高	
	百万円	前年同四半期比	百万円	前年同四半期比
サービス	146,237	+10.5	119,847	+15.1
ソフトウェア	17,938	33.4	12,789	27.3
ハードウェア	28,984	17.1	13,033	38.7
合計	193,160	0.6	145,670	+1.9

(注)1. 受注残高については、1年以内売上予定の残高を記載しております。  
2. 上記の金額には、消費税等を含んでおりません。

## (2)販売実績

売上区分	金額	
	百万円	前年同四半期比
サービス	158,703	+27.9
ソフトウェア	23,633	18.4
ハードウェア	34,068	17.8
合計	216,405	+11.3

(注)上記の金額には、消費税等を含んでおりません。